



高尾の緑

Vol.112

学校法人トヨタ東京整備学園
専門学校

トヨタ東京自動車大学校

Toyota Technical College Tokyo

国土交通大臣指定・文部科学大臣認定
〒193-0944
東京都八王子市館町 2193 番地
TEL 042-663-3211 編集責任者 黒沢 茂

祝 入学おめでとう

質実剛健なトヨタ東自大生をめざし、 平成25年度生 469名 でスタート!!



クラス発表



エンジンウェア授与

上級科生

① 自ら課題を見つけ果敢に
チャレンジする逞しさ
② 後輩達の良きリーダーとなる



夢と希望を胸に
キャンパスライフを
大いにエンジョイしましょう
杉山 泰成 校長



一年生担任紹介

新1年生

① 大きな夢を持ってほしい
② クルマをもっと好きになる
③ 決めたことを必ずやり遂げる



新入生決意の言葉



初登校

スマートモビリティ科 平成26年度より開設決定

平成25年4月よりスマートモビリティ科の募集が開始されました。(詳しいことは当校HPにて確認出来ます)トヨタが提案するスマートグリッド、ITSや環境技術に対応できる専門知識を備えた人材教育や大学併修制度による学士の取得等電気自動車への改造等に於ける設計・製作の基礎知識を学んだり、CAD技術や電気工事士資格等の取得も目指せるカリキュラムが展開されます。次世代技術がこれからの時代を切り拓いて行く、そのトップナビゲーターとしてスマートモビリティ科が平成26年4月からスタートします。

多目的広場新設

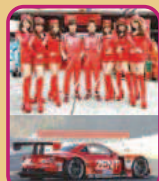
平成26年5月運用開始を目標に他目的広場の新設が進行しています。授業に於ける運転機増加への対応や各種運転講習への活用、学園祭等のイベントや災害時の避難場所としての利用にも視野を置いています。

女子学生が生き生きと...記事は4面に

女子カアアップ!
当校初の女性教員採用
女子学生ロケット車 リニューアル
女子入学者向けリーフレット新規導入

LEXUS TEAM ZENT CERUMO モータースポーツアドバイザー紹介

当校はモータースポーツアドバイザーとして、スピードGTで活躍されているチームと契約をして、学校行事やレースメカニクスの体験などに、ご協力を頂いています。
今年度4月からは、契約チームが「レクサス・チーム・セント・セルモ」となり、チームのメインカラーも青系から赤に様変わりし、入学式にはセント・セルモのドライバー、立川選手、平手選手による講演会が開催されました。
また、モータースポーツ関連の活動として、86モーターズポーツ、ウィッチャーヤレンジ、プリウスカップ、全日本電気自動車GP他、多くの競技に出場しています。今後もモータースポーツを通じて、学生に自動車の魅力を肌で感じ取ってもらい、その経験を後輩に伝承し、クルマ好きの若者が増えるよう活動して行きます。



平手選手 立川選手



お問い合わせ・イベント申込みは「学生部」まで!

なろう - 1級・2級
フリーコール **0120-76-1929**
トヨタ大学校 検索

2013年も 在校生がご案内 楽しいオープンキャンパスが待っている!

授業見学 (本校)
要予約 11~13時
6/8(土)・22(土)
7/6(土) 8/22(木)・23(金)・24(土)

体験授業
要予約 10:30~15:00
東京 7/20(土)・21(日)・22(月)
盛岡・仙台・宇都宮 7/30(火)・31(水)

トヨタ東自大の応援制度

1. 受験生紹介制度 卒業生の方・関連企業の方
2. 寮費無料! (定員あり:120名程度) 校内寮:1年次の寮料
3. 学費サポートプラン (オリコ) 在校生も利用中

詳細はお問い合わせ下さい。

「新年度開始にあたり」

副校長 松浪良樹



付き合える友人を見つけることが出来る、尊敬できる先生に出会える等々諸君にとつて貴重なチャンスが沢山ありますね。是非何事も前向きに捉えて下さい。

「入学おめでとう!!」

教育部長 河本博司



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。もう既に学校の生活には慣れましたか? 高校での勉強とは違うので何かと大変かと思えます。また親元を離れて寮生活や学生向けマシンの生活を始めた人も多いで食事や洗濯など新たなチャレンジに取り組んでいることでしょう。自分の好きな車に関する勉強が出来る、将来の活躍に向けて自分磨き出来る、一生

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ新しい勉強のスタートです。皆さんはどんな夢を抱いて入学してきたのでしょうか。当校では皆さんの夢を満たすべく「プロとしての基本技術」「社会人としての人間性」を学ぶことができるよう授業や学校行事が組まれています。その中で君達の夢が実現できるように先生達が精一杯



「入学してからの決意」

1級自動車科 上條陽平

私がトヨタ東京自動車大学校に入学したのは、私の夢を叶えるためです。私の夢は本校で1級自動車整備士の資格を取得して、地元トヨタディーラーで働いて、お客様から信頼してもらえ整備士となるのが私の夢です。この夢を叶えるために本校のスロガンである「技術を磨け、そして人間性も」という言葉をもとにがんばって行きたいと思えます。



「きっかけは自動車部」

自動車整備科 重光慶祐

私が自動車整備士を目指すと思ったきっかけは、大学在学中に所属していた自動車部です。モータースポーツ競技を主として活動し、ジムカーナやダートトライアル等の大学生選手権大会に出場しました。時には汗と油と泥にまみれ、時には真冬のピットで徹夜の整備を行いました。厳しいことも多々ありましたが、しかし、そうした時間を乗り越えていられることの楽しさを学び、もっと多くの知

入学おめでとう

めました。寮での生活は何かと大変ですが、ルームメイトや同級生、先輩方と協力していくことでコミュニケーション能力を養って行きたいと思えます。学校での授業では、設備の整った整備工場の中で技術を磨き上げるとともに一緒に実習や学科の授業をやっていくクラス仲間との親睦を深めて行きたいと思えます。最後に、これから車社会を支える一員になれるよう一生懸命勉強したいと思えます。

識を吸収したいという気持ちが強くなりました。もともと私は自動車が好きでしたが、この部活を通じて、車をただの趣味で終わらせず、より専門的に勉強したいと思うようになりまし。今私は、プロの自動車整備士になることを志しています。現在24歳で、他の人よりも少し遅回りな人生を歩んではいますが、だからといって決して手遅れではないと思っています。自動車整備科を無事に卒業できたら、1級専攻科卒業を目指し、更なる専門知識と技術の習得に励みたいで

「入学にあたって」

自動車整備科 ロウケツオ



トヨタ東京自動車大学校は「技術を磨け、そして人間性も」というスロガンがあります。技術も、人間性も養成することが出来るので、この学校を選びました。

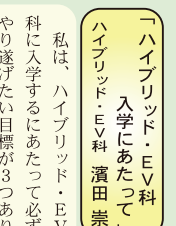
私は志望したこの由緒のある学校に無事に入学出来て、喜んでいきます。待ち遠しかった入学式に参加して、視野を広げました。「さすがトヨタ」という気持ちが出てきました。



「決意表明」

1級専攻科 岡谷和明

1・2年の時に先生方、今は成績が良くても進級時油断しているのと取り返しのつかないことになると言われてきました。今までと同じ気持ちでいたら大変なことになると思います。東自大に入学した時のように初心に戻り、更に努力していかねばならないと思いつつ、描く将来は無くなると不安になりました。今後の2年でわたしがやらなければならない事は、メリハリのあ



「ハイブリッド・EV科 入学にあたって」

ハイブリッド・EV科 濱田崇

私は、ハイブリッド・EV科に入学するにあたって必ずやり遂げたい目標が3つあります。

1つ目は、この科の特徴であるハイブリッド車、電気自動車車の技術について幅広く学び、知識を付けることです。2つ目は、この一年間で取

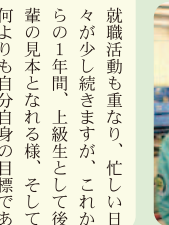


久しぶりのやる気も飛び出しました。大学の時、本気で言うと、無駄な四年間を過ごしたと言えます。目標がなくて、毎日のんびりしていました。試験が終わったら、勉強したものをすぐ忘れてしまいました。ここで中国からの留学生として、日本語でのサービスクーリションを勉強するだけでなく、技術もしっかりと身につけることを目標に、頑張ります。もう23歳になりましたが、目標があれば、遠くない、これからだと思えます。

の勉強と私生活、社会に出る為の準備の積み重ね、自ら前に出たのチャレンジ、ひたすら挑戦での自分探しと沢山ありますが、全力でやって行きたいです。ただなんとなく送る学生生活なんて私は絶対に嫌です。常に目標を持ち自分のマイナスをプラスにして行けば自信につながると思います。震災から2年たつた、漁師の父は職を失い入学辞退しようとする私を引き止め送り出してくれた両親に恥じる事のないよう、両親の期待よりも大きい自分となり、立派になつた自分を見せられるよう努力して行きたいと思えます。

「手に職をつける」

ボデークラフト科 鴨下伸吾



私は、先月2年間の自動車整備科の課程を無事に終え、四月から新たにボデークラフト科に入学しました。私は、ボデークラフト科に入りたいと思いつトヨタ東自大に入学したという思いです。決して楽しいことだけではないと思いますが、自動車整備科で培った知識、技術などを応用し、しっかりと自分自身に活かして行きます。まだ入学してから数日しか経っていませんが、先生方も非常に親切です。ですが、先生方も非常に親切です。ですが、先生方も非常に親切です。

得可能な資格である、ビジネス能力検定シヨバス2級、トヨタサービスクーリエーション検定3級、第2種電気工事士の3つ全てを取得することです。3つ目は、在学中の就職活動を怠らせずに第一志望の企業から内定を得ることです。決意表明として3つの目標を挙げましたが、この全てを成し遂げるのは私の想像以上に険しい道かもしれませんが、しかし、就職社会に出ればそれ以上に大きな壁に直面すると思えます。この一年でそのような壁を乗り越えられる強い人間に成長したいと思えます。

お知らせ

本年度より学生部長が変わりました。3月まで学生部長を務めておりました理事の宮下さんが退職となりました。後任で副校長の松浪が学生部長を兼任します。今後ともよろしくお願いたします。



安全の門設置!

安全 第一



実習作業前の危険予知トレーニング(R.Y.T)の習慣化、安全意識の向上を目的に実習場の入口に安全の門を設置しました。トヨタ自動車では1957年より『安全な作業は、作業の入口である。わたしたちは、まずしっかりとこの入口を通りましょう』という基本理念を常に念頭に置き、継続的な取り組みを実施している。実習場に入る前に安全の門を通り、安全意識をしっかりと持ち作業をしましょう。

高尾登山
一年生は4月18日にレクリエーションの一環として高尾山に登ってきました。当日は高尾山駅に班毎に集合をして、高尾山頂を経由し、小仏城山で折り返す、片道2時間半のルートで入りました。学後9日、今日の高尾登山は、



コミュニケーションをとり、友達を作る」を目標に課題をクリアしながらゴールを目指しました。各チェックポイントでは、ニックネームを考えたり、薬王院では集合写真を撮ったりなど、仲間同士で課題をクリアしていきましました。最初は弱音を吐いていた学生も、仲間の励ましで登りきり、山頂からの景色を見て達成感を味わっていました。大自然の下、親睦を深め、結束が強まった一日となりました。

1年生レクリエーション「高尾山登山&わくわくピレージ」



当日は新割りから始めて飯ごう炊飯の本格的なカレー作りを半日。プロジェクトアドベンチャーと呼ばれる、1人では出来ない課題を仲間と協力しながら乗り越えていくアウトラクションを行いました。普段の授業では体験しない事を行い、学生たちはいきいきと楽しんでいました。また、1日が終了した後は、今までより強い絆が結ばれていました。



高尾の森 わくわくピレージに
一年生は、去る5月7日〜10日までの1日を利用して、『高尾の森わくわくピレージ』に行ってきました。仲間とのコミュニケーションを図ることを目的とした、高尾山登山に続く授業になります。



災害は起こらないにこそした事はありませんが、万一、発生した場合でも落ち着いて行動できるように今回の訓練の内容を一人一人がしっかりと再確認しておいてほしいと思います。



約1000人の学生、職員がいつ起きるか分からない災害に対し、真訓練に取り組みました。訓練では実際の放水はしませんが誘導の確認、1年生は起震車体験、消火器訓練も行いました。また消防署の浅川出張所の所長さんからの講評や消防活動2輪「クイックアタッカー」の紹介も行われました。

4月11日、震度5強の直下型地震が多摩地区に発生し、校内に火災が起きた想定で、防災訓練を実施しました。

消防避難訓練実施

ボランティア活動報告

地域清掃

「さわやかながら、地域貢献」
3月9日、春どころか初夏を思わせるような暖らかな土曜の朝。当校の学生62名と、柗田中学校および地域の皆さんとで、平成24年度最後の「地域清掃」が行われました。
当校学生は4グループに分かれて、日ごろ通学で使っている湯殿川沿いの遊歩道をメインにゴミを拾いました。空き缶やペットボトル、お菓子のゴミ箱空袋、歩行喫煙禁止の八王子市市に問わず、たかさの吸殻が何十回も腰をかかめて、40分ほどゴミ袋十数枚がいっぱいになりました。
拾うゴミがなくて、地域清掃ができないようになると良いですね。



被災地に車を届ける会

「被災地に車を届ける」会ボランティア
このボランティアは「八王子クラシックカーパレード実行委員会」が立ち上げたもので、愛車を長時間乗らずに自宅に保管している方や新たに車を購入し換える方、また、被災地の方に車を使用してもらいたい方などから車を提供(寄贈)してもらい、被災地に届けて有効活用してもらおうものです。
当校学生は日常点検と車両清掃を担当し、昨年度は、計12台の車を届けるお手伝いをしました。活動は提供車両が集りしだいなので不定期ですが、授業であまり触れない他メーカー車やワンボックス車、軽自動車に触れる楽しさもあります。依頼が来たらよろしくお願ひします。



エキサイティング GoGo EV

初夏の陽気を感じる5月3日、筑波サーキットでエキサイティングGoGo EVレースが開催されました。私たちが参加したのはERK(電動レーシングカート)30分耐久レースで、2セットのバッテリーを使用して、30分間走りきらなければならぬというものでした。電気消費量を考えながらできるだけ速く走る作戦を考えて挑んだところ、クラス2位表彰台を獲得することができました。今回は優勝を狙って頑張りたいと思います。



ERK-CUP

ハイブリッド・EV科 島崎恵実
4月20日に電動レーシングカートのレースに参加してきました。今回はバッテリーの使い方、サーキットの走り方を体感するのが目的で、チーム全員で完走する事が目標でした。
レース中は、なるべくバッテリーを使わずに速く走る方法を考えながら走りましたが、思っていた以上に他チームのカー트가速く、それにつられて私もアクセルを踏んでしまいがちでした。今回の反省を活かして、次回レースも頑張りたいと思います。



24年度献血結果報告

本校では社会貢献活動の一環として献血を実施しています。平成24年度の献血は11月の学園祭で3日間、3月に2日間の計2回、5日間行われました。多くの学生、職員が協力していただき、2回の合計で実施が336名となり、昭和48年からの累積が、実施13568名となりました。25年度も実施の予定です。ご協力よろしくお願いします。



Toyota Technical College Tokyo News

卒業生の活躍!

LETTER FROM 卒業生

トヨタ自動車技術研究交流 (上海) 有限会社

林泉秀さん

トヨタ東自大のみなさんには、はじめまして、私は40期卒業生(平成24年卒)の林泉秀です。

2012年に卒業して、すぐ「トヨタ自動車技術研究交流(上海)有限会社」に入り、板金の教育を担当しています。

入社してもう1年がたちましたが、この1年はいろいろな事があり、毎日楽しく仕事をしていきます。



劉さん 林さん

4月に入社した時は、板金のこと

が全然分からず、

レクサスのディーラーで1ヶ月間研修をして、少し分

かりましたが、女性

が板金の教育が出来るかどうか不安でした、6月には日本の技術指導者

が来て、劉君と劉君と私に板金のことを教えてく

れました。劉君も40期の卒業生です。今は、板金の研修のときは、6人位の生徒さんが来て、劉君と一緒に一週間の教育を担当しています。二人とも板金の教育担当に慣れ、今までた

くさんの受講生を送り出しました。これからも、仕事では厳しく頑張っています。東自大の皆さんも頑張ってください。



卒業生



写真上中央 左 劉さん 中 呂山顧問 右 林さん



ネットヨタ千葉 成田店 自動車整備科40期 本宮次郎さん

私が在学中に意識してやっていたことは、自分の苦手な科目は何かを、はつきりさせることです。そうすることで、得意な科目で小さな点数をとるよりも、苦手な科目で大きい点数をとることができるからです。



任せてもらえるようになってきました。技術的にはまだまだなので、も

就職してから主にやっていることは車の作業です。作業をこなしていくことで、基本的な技術が身につきます。最初の頃は重整備いわゆる難しい作業は先輩方をお願いしましたが、最近では少しずつですが重整備を

任せてもらえるようになってきました。技術的にはまだまだなので、も

と技術の身につけられるよう、日々ががんばっています。

在校生のみなさんへのアドバイスとして、難しいことを無理に覚えるよりは、基本的なところを確実に身につけて卒業してください。基本に忠実にとよこしいですが、現場ではその基本の知識が何よりも大切なので自分の宝になります。入社してから先輩方に、「この新人、使えるな」と思われたいならなおさらです。

就職してからの勉強は本当に大変なので、在学中にできるかぎり沢山の知識を身につけてください。

女子学生に優しい教育環境

私は学生の時、女子更衣室のリフォーム検討チームの代表をさせて頂きました。考える事もスムーズに出来たのですが、いざ皆と相談してみると意見がまとまらず、人をまとめる大変さを学びました。

何ヶ月も悩み、自分が思うようなレイアウトや電気コンセントの配置がなかなか決まらずに苦労もしましたが、今回無事にリニューアルする事が出来て良かったです。

この機会を境に、女子学生が過ごしやすい環境を作って行きたいと思いました。でもそれは、私一人では出来ないの

で、女子学生が過ごしやすい環境を作って行きたいと思いました。でもそれは、私一人では出来ないの

で、女子学生が過ごしやすい環境を作って行きたいと思いました。でもそれは、私一人では出来ないの

で、女子学生が過ごしやすい環境を作って行きたいと思いました。でもそれは、私一人では出来ないの

で、女子学生が過ごしやすい環境を作って行きたいと思いました。でもそれは、私一人では出来ないの

頼りないかも知れませんが、意見や悩み、世間話など何でも話して頂けると、とても嬉しいです。

教職員としてまだまだ未熟ですが、これからたくさん女性の整備士が誕生し、活躍出来るようにサポートを頑張っていきます。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

初の女性教員は身近な相談役!

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

当校初の女性教員・鈴木慧美先生が学生時代にリーダーとして女子ロッカーのリニューアル企画に参加しました。今回はその時のお話を少し伺いました。

リニューアルしました

今年度から職員のユニフォームが新デザインにリニューアルされました! デザインは、黒を基調に「職員の技術力の高さ」をアピール

また「動きやすさ」も考え作られました。「レーシングスーツみたい!」と上々の感想も! また、女子職員のユニフォームもリニューアルされました。

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

職員一同、心機一転、このユニフォームで皆さんをサポートします!

鈴木慧美先生 千葉県千代田市 千代田市立第一中学校 教員 趣味: 散歩、ドライブ、車での遠征

田中雄太先生 山梨県笛吹市 山梨県立第一高等学校 教員 趣味: お城巡り、写真、スポーツ

高野千鶴さん 東京都 総務部総務課 趣味: 音楽を聴くこと (主にJ-POP)

俣野良樹先生 東京都 工業高校卒業後、4年間東京トヨタ自動車メカニクとして入社。44年間サービスマンとして勤務。趣味: 車、バイク

水野祐貴子さん 東京都 総務部総務課 趣味: 音楽鑑賞

木村弘孝先生 宮城県登米市 自動車整備科1科 趣味: ドライブ、旅行、ラーメン

あなたの地元の相談役! 学生部 全地方担当員紹介

「応募学生のサポーター!!」 後列左より: 仙台事務所、茨城事務所、千葉事務所、神奈川事務所、前列左より: 秋田事務所、福島事務所、群馬事務所、埼玉事務所、伊藤 忠さん、長谷川 力さん、宮前 宗人さん、山下 勝之さん、佐藤 昭さん、桜井 茂さん、高澤 優さん、石川 哲也さん